



札幌市における 再犯防止の取組について

令和7年10月7日

札幌市 市民文化局 地域振興部 区政課

札幌市の概要

- 面積: 1,121.26km²(北海道・石狩平野の南西部に位置)
- 人口: 1,967,952人(令和7年8月1日時点)
- 歴史:大正 11年市制施行

昭和45年に人口が100万人を突破

昭和47年に政令指定都市へ移行し、区制(7区体制)を施行

平成元年に分区し、9区体制へ

平成9年に分区し、10区体制へ





札幌市再犯防止推進計画①

○ 制定の趣旨

再犯の防止等の推進に関する法律(再犯防止推進法)に基づき、**犯罪をした人等が孤立することなく、市民の理解・協力を得て再び社会を構成する一員になるよう支援することで再犯を防止し、安全に安心して暮らせるまちの実現を目指す。**

○ 計画期間

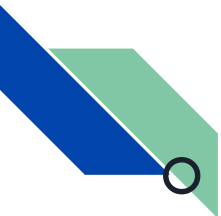
令和6年度～令和 10年度(5年間)

札幌市再犯防止推進計画②

○ 基本方針(概要)

- ① 関係機関等との連携した取組の推進
- ② 犯罪をした人等への切れ目のない支援
- ③ 犯罪被害者等の心情への最大限の配慮
- ④ 犯罪の実態や社会情勢に応じた効果的な取組の推進
- ⑤ 広く市民の理解と協力を得るための普及啓発





札幌市再犯防止推進計画③

○ 重点テーマ(概要)

犯罪をした人等は、様々な困難を抱えている場合も多く、各課題に応じた適切な支援が不可欠であることから、以下の7項目を重点テーマとして設定

- ① 就労・住居の確保等
- ② 保健医療・福祉サービスの利用促進等
- ③ 学校等と連携した就学支援
- ④ 様々な困難に応じた効果的な支援
- ⑤ 民間協力者の活動の促進等
- ⑥ 国・民間団体等との連携強化等
- ⑦ 広報・啓発活動の推進等

札幌市再犯防止推進計画④

○ 成果指標

計画の目的の達成状況を確認するため、成果指標とその目標値を設定

成果指標	計画策定時の数値		目標値	
再犯者数(※)	令和4年 (令和5年)	1,411人 (1,662人)	令和9年	1,190人以下
犯罪をした人等の立ち直りに協力したいと「思う」又は「どちらかといえば思う」人の割合	令和5年 (令和7年)	27.7% (23.2%)	令和10年度	50.0%以上

※ 札幌市を管轄するすべての警察署の統計であり、石狩市、当別町、北広島市を含む。



札幌市再犯防止ネットワーク会議①

○「札幌市再犯防止ネットワーク会議」とは

関係機関と連携し、協働した施策を推進するため、市、刑事司法関係機関、更生保護関係団体等で構成する会議体。令和6年5月に設置し、年2回程度、一堂に会し、会議を実施

<構成団体>

1	北海道矯正管区
2	札幌協力雇用主会連合会
3	札幌市居住支援協議会
4	札幌市更生保護女性連合会
5	更生保護法人札幌更生保護協会
6	北海道地域生活定着支援札幌センター
7	札幌市 BBS会
8	札幌保護観察所
9	札幌市保護司会連絡協議会
10	再犯の防止等に関する識見を有する者が在籍する高等教育機関等



札幌市再犯防止ネットワーク会議②

○ 令和6年度の具体的な取組

① 再犯防止パネル展の実施

市内全10区の市有施設(区民センター等)にて各3日間展示

② 広報啓発イベント(「更生保護・矯正フェア」)の実施

- ・ ショッピングモールのイベントスペースにて開催
- ・ ミニステージ(更生保護・矯正関係者とのトーク)、
広報パネルを用いたクイズラリー、刑務所作業製品展示等

札幌市再犯防止ネットワーク会議③

① 再犯防止パネル展の実施

<作成パネル抜粋>





札幌市再犯防止ネットワーク会議④

① 再犯防止パネル展の実施

＜来場者アンケート結果＞

質問：犯罪や非行をした人の立ち直りに協力したい
と思いましたが（計画の成果指標）

- ・「思った」： 50.0%
- ・「どちらかと言えば思った」： 42.2%

⇒ 合計 92.2%

札幌市再犯防止ネットワーク会議⑤

② 広報啓発イベント(「更生保護・矯正フェア」)の実施

- 各種コーナーを設置
- 更生保護・矯正の両方の要素を盛り込んだ内容
- クイズラリーの景品も、更生保護関連グッズや刑務所作業品を用意



札幌市再犯防止ネットワーク会議⑥

② 広報啓発イベントの実施

＜来場者アンケート結果＞

質問：犯罪や非行をした人の立ち直りに協力した
たと思いましたが（計画の成果指標）

・「思った」：56.4%

・「どちらかと言えば思った」：35.6%

⇒ 合計 92.0%

クイズに答えて抽選で
豪華景品をゲットしよう!!

再犯防止クイズラリー

こたえに
マルをつけてね!

Q1
横断された人のうち、再び罪を犯した人の割合は
どれくらいでしょう？

1 2人に1人
2 3人に1人
3 4人に1人

Q2
犯罪や非行をした人の立ち直りを見守る
ボランティアの名称は何でしょう？

1 警察官
2 保護司
3 消防士

Q3
若い人の視点で犯罪や非行をした人の立ち直りを
見守るボランティア団体の名称は何でしょう？

1 AAS会
2 BBS会
3 CCS会

Q4
法務省が主催する、犯罪や非行を防止するための
運動の名称は何でしょう？

1 “未来を築く運動”
2 “希望の光運動”
3 “社会を明るくする運動”

Q5
更生保護マスコットキャラクターの名前は何でしょう？

1 ベンちゃん 2 ギンちゃん 3 ホゴちゃん

アンケート

1. ご年齢は？

1 0～5歳 2 6～18歳 3 19～39歳 4 40～65歳 5 66歳以上

2. このクイズラリーに参加して、犯罪や非行をした人の立ち直りに協力したいと思いませんか？

1 思った 2 どちらかといえば思った
3 どちらかといえば思わなかった 4 思わなかった

回答したら C 抽選・景品交換コーナーへ持ってきてね!

札幌市再犯防止ネットワーク会議⑦

○ 令和7年度の具体的な取組

「札幌市時計台」のイエローライトアップ

※ 法務省保護局の Xでの投稿閲覧数 約9,000件
(令和7年9月時点の閲覧数)



○ 令和7年度における今後の取組(予定)

- ・ ショッピングモールにおけるイベント形式での広報啓発活動
- ・ 再犯防止に係るシンポジウムでの情報発信

○ 今後のネットワーク会議の展望

再犯防止の推進には市民理解が不可欠であるため、関係機関と連携し、広報啓発活動をさらに強化していく。



保護司の面接場所の確保

○ 面接場所確保の取組

- ・ 平成24年4月：更生保護サポートセンターの設置開始
- ・ 平成29年4月：市内10区全てにおいて市有施設への設置完了
- ・ 令和7年4月：新たに市有施設2か所の会議室等を面接のため無償で利用できるよう取扱いを明確化
- ・ 令和7年6月：一部の「まちづくりセンター（地域住民が主体のまちづくり活動を支援し、活性化させるための拠点となる施設）」の一室を面接のため無償で利用できるよう取扱いを明確化